

平成27年度秋田県計画に関する 事後評価

平成28年 9月 (当初)
平成29年 9月 (追記・修正)
平成30年10月 (追記・修正)
令和 2年 1月 (追記・修正)
令和 3年 1月 (追記・修正)
令和 3年11月 (追記・修正)
令和 4年11月 (追記・修正)
令和 5年11月 (追記・修正)
令和 7年 1月 (追記・修正)

秋田県

(令和5年度事業実施分のみ)

3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 2】 入院患者に対する歯科医療推進事業	【総事業費】 10,400 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	県歯科医師会	
事業の期間	平成 27 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者の患者の誤嚥性肺炎や、がん患者の術後の肺炎リスクが少なくないことから、発症率を下げるためには、患者の入院時等における口腔内の衛生管理の充実を図ることが重要となっている。	
	アウトカム指標：年齢調整死亡率（75 歳未満・人口 10 万人対）（90.7→76.8）	
事業の内容（当初計画）	がん診療連携拠点病院等の入院患者の口腔機能向上を図るための研修、がん診療連携拠点病院等の患者に対する全身及び口腔機能の向上を図るための医科歯科連携モデル事業、連携協議会の開催等の経費に対して助成する。	
アウトプット指標（目標値）	在宅療養支援歯科診療所数（人口 10 万人対 5.2 以上）	
アウトプット指標（達成値）	在宅療養支援歯科診療所数（人口 10 万人対 7.6 (R4)）	
事業の有効性と効率性	アウトカム指標：年齢調整死亡率（75 歳未満・人口 10 万人対） R1:82.0 → R5:77.2	
	<p>（1）事業の有効性</p> <p>令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を優先したため、本事業の実施は見送られたものの、本事業は、入院患者に対する手術後感染症（肺炎など）予防や化学療法によって免疫力が低下した患者への健康管理対応など、病院と歯科診療所が連携した医療提供体制の強化が図られるものであり、今後も県歯科医師会と連携しながら事業を継続する。</p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>令和 4 年度は未実施であったものの、これまでの事業実施によって、病院と歯科診療所の連携が図られ、口腔衛生管理における医療提供体制が構築されている。</p>	
その他		

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO. 5】 県北地域における救急医療体制整備事業	【総事業費】 768,642 千円
事業の対象となる区域	大館・鹿角区域、北秋田区域	
事業の実施主体	大館市立総合病院	
事業の期間	平成 27 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域救命救急センターが存在しない県北地域において、救急医療体制の充実を図ることが重要となっている。	
	アウトカム指標：三次救急医療施設数（2→3）	
事業の内容（当初計画）	救急医療体制の強化に向けた救急医療機器の整備並びに大館・鹿角及び北秋田区域におけるがん医療体制の充実に向けた高度医療機器の整備を行うための経費に対して助成する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備のために、当該補助により機器整備を行う施設数（1）	
アウトプット指標（達成値）	地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備のために、当該補助により機器整備を行った施設数：1	
事業の有効性と効率性	アウトカム指標の「三次救急医療施設数」は、2 施設（令和 6 年 1 1 月現在）となっている。	
	<p>（1）事業の有効性 令和 7 年 4 月に三次救急医療施設が 1 施設増加されるよう、現在関係機関と協議を行っており、事業終了後にアウトカム指標（三次救急医療施設数（2→3））は達成される見込み。 施設や設備の整備に対する助成措置を行うことにより、実施主体である医療機関の負担を軽減し、県北地域の救急医療提供体制の整備が図られた。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業の実施により、県北地域の救急医療提供体制の整備が図られるほか、病院における施設、設備の改修等が実施されることで、安定的な病院経営や、病院サービスの向上にも資することとなった。</p>	
その他		